

作成日 1999年 5月 31日

改訂日 2021年 12月 29日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	卵白リゾチーム2%液
供給者の会社名称	キューピー株式会社
住所	東京都渋谷区渋谷1-4-13
担当部門	ファインケミカル本部
電話番号	03-5384-7779
緊急時連絡電話番号	03-5384-7779
FAX 番号	03-5384-7879
推奨用途及び使用上の制限	食品用途（食品添加物 酵素製剤）

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分3

（エタノール濃度が60%未満なので、消防法 危険物 第4類 アルコール類には該当しない）

健康に対する有害性

*本製品はエタノール（CAS 番号：64-17-5）を12%配合しています。

以下、エタノール：12%配合品としての健康に対する有害性の GHS 分類を記します。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分2B

発がん性：区分1A

生殖毒性：区分1A

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分1（肝臓）、区分2（中枢神経系）

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

引火性液体及び蒸気

眼刺激

発がん性のおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）

注意書き：

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

この製品を取り扱うときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。

火災の場合：消火するために、適切な消火剤を使用すること（5.火災時の措置を参照）

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を国、地方の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分の化学名又は一般名及び含量

エタノール	12.00 % (CAS 番号：64-17-5)
リゾチーム	2.00 % (CAS 番号：12650-88-3、9001-63-2)
乳酸	0.08 % (CAS 番号：79-33-4)
醸造酢	0.02 % (CAS 番号：64-19-7)
精製水	85.90 % (CAS 番号：7732-18-5)

4. 応急措置

吸入した場合 うがい等で鼻孔、口腔を清浄にする。
使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にする。気分が回復しない場合は医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合 水洗する。必要に応じて医師の診察を受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合 水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診察を受けること。

本品は有害物ではありませんが、卵白に対してアレルギーのある方はまれに過敏反応を呈しますので、痒み、炎症等あれば、医師の診察を受けて下さい。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 霧状の水、砂、粉末消火器、二酸化炭素 等。

使ってはならない消火剤 霧状でない水、泡沫消火器は多量の漏洩がある場合は、被害が広がる恐れがあるので使用しない。

火災時の特有の危険有害性 利用可能な情報はない

消火を行う者の保護 通常の火災同様、適切な個人用保護具、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用する。

環境に対する注意事項

できる限り回収し、河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法及び機材

引火を防ぐために、火気を速やかに取り除き、換気を十分に行う。できる限り回収し、少量はウエス等で拭き取り、多量の水で洗い流す。漏出箇所は滑りやすくなるので処置時注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけ、換気の良い場所で使用する。禁煙。高温、直射日光による品質劣化に注意。アルカリ金属類、アルカリ土類金属、水素化物、りん化物などの禁水性物質及び強酸化物との接触を避ける。適切な保護具を着用する（8.ばく露防止及び保護措置を参照）。

保管

密封のうえ、直射日光、高温を避け、火気や熱源から遠ざけて冷暗所で保管する。保管時は必ず天面の口部を上にする。アルカリ金属類、アルカリ土類金属、水素化物、りん化物などの禁水性物質及び強酸化物から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設置する。
保護具 保護眼鏡、保護手袋、長袖作業衣等、必要な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	ほとんど透明
臭い	アルコール以外にほのかに甘い香りを有する。
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界および 爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	3.8～4.2
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶。
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.970～1.000（15℃）
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管及び取り扱いにおいて安定であり、危険有害な分解生成物は発生しないが、高温下で開放状態におかれるとエタノールが徐々に蒸発する。
危険有害反応可能性	通常の処理ではなし
避けるべき条件	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源の付近、高温下での保管、開放状態。凍結厳禁。

混触危険物質	アルカリ金属類、アルカリ土類金属、水素化物、りん化物などの禁水性物質及び強酸化物
危険有害な分解生成物	水素（混触危険物質と混合した場合）、また、加熱により一酸化炭素、二酸化炭素が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

配合成分「エタノール」に関する情報（GHS分類）

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分2B

ウサギを用いた2つの Draize 試験において中等度の刺激性と評価されている（SIDS）

発がん性：区分1A

エタノールは ACGIH で A3に分類されている（ACGIH）。また、アルコール飲料の発がん性について多くの疫学データから十分な証拠があることなどから、アルコール飲料に含まれるエタノールの摂取により、エタノール及び主代謝物であるアセトアルデヒドが食道などに悪性腫瘍を誘発することが明らかにされている（IARC）。

生殖毒性：区分1A

ヒトでは出生前にエタノールを摂取すると胎児性アルコール症候群と称される先天性の奇形を生じることが知られている（PATTY）。なお、胎児性アルコール症候群は妊娠中に大量かつ慢性的にアルコールを飲んだアルコール依存性の女性と関連している。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性、麻酔作用）

ヒトの吸入ばく露により眼及び気道への刺激症状が報告されている（PATTY）。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：区分1（肝臓）、区分2（中枢神経系）

ヒトでのアルコールの長期大量摂取はほとんど全ての臓器に悪影響を及ぼすが、最も強い影響を与える標的臓器は肝臓であり、障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化の段階を経て肝硬変に進行する（DFGOT）。また、アルコール乱用及び依存症患者の治療として、米国 FDA は3種類の治療薬を承認しているとの記述がある（HSDB）。

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余物及び包装材料の廃棄においては、関連法規ならびに国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連分類、国連番号

国連番号：1993

国連品名：その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）

国連分類：クラス3（引火性液体）

容器等級：III

その他

高温、水濡れ注意。乱暴に取扱い容器を破損させない。

引火性の液体なので熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。

15. 適用法令

・労働安全衛生法

本製品はエタノールを約12%配合しており、名称等を表示すべき危険物及び有害物、名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2）に該当する。

（エタノール濃度が60%未満なので、消防法 危険物 第4類 アルコール類には該当しない。）

16. その他の情報

参考文献

NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）化学物質総合情報提供システム：NITE-CHRIP
JIS Z7253:2019, JIS Z7252:2019

事業者向け GHS 分類ガイダンス（経済産業省／令和元年度改訂版(Ver.2.0)）

職場の安全サイト（厚生労働省）

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。また、安全な取り扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、記載のデータや評価に関しては、製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。

新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。

また、注意事項は通常の手配を対象としたものですので、特別な手配をする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱いを願います。